



吉田地区コミュニティ推進協議会が設立

これからも吉田地区に笑顔と笑い声を

1月27日に開催された設立総会により、吉田地区に新しいコミュニティ組織「吉田地区コミュニティ推進協議会」が設立されました。

協議会は、旧吉田東小・西小の学区内に居住する住民によって組織されます。人々が交流を通じて活気にあふれ、健康に暮らせる地域づくりを目的とし、コミュニティづくりや地域の環境・防犯・防災に関する事業、地域の未来創出や子どもたちの育成に関する事業を行っていきます。



しもつけワイズ

問2

天平の丘公園で行われる春の文化イベントといえば、次のうちどれ？

① 燈桜会

② 桜歌会

③ 歌会始

避難所設営訓練を実施しました

市民の生命と安心を守ります

2月11日、旧国分寺西小学校体育館にて避難所設営訓練を実施しました。

大規模地震災害時及び風水害による河川の氾濫などの発生時を想定した訓練が行われ、市職員は迅速な避難所開設、市民は適切な避難行動の習得を目的に、合計100名ほどが参加しました。

当日は、箕輪自治会と社会福祉法人はくつる会の協力のもと、市職員が避難所を開設し、避難者受付訓練、資機材取扱訓練などが行われました。また、安全安心課職員による避難所運営についての講話が行われ、有事の際の避難に必要な知識を深めました。



避難者受付訓練の様子



資機材取扱訓練の様子

より処グリム「新年会風 オレンジカフェ」を開催しました

坂村市長が訪問

1月20日、グリムの館においてより処グリム「新年会風 オレンジカフェ」を開催し、チームオレンジしもつけの一員である坂村市長が訪問しました。認知症家族の会やチームオレンジしもつけのスタッフなど総勢20名が参加し、市長と「下野市ふるさとかるた」を使ったかるた取りやビンゴゲームで、楽しく交流を深めることができました。

より処グリムは、認知症の方とその家族、地域住民や専門職等の誰もが参加でき、認知症について学び、理解し、相談できる集いや家族同士の交流の場として令和元年5月に発足し、チームオレンジしもつけが運営にあたっています。

